

算数授業のめあてとポイント

令和8年3月号

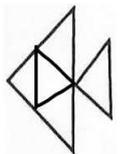
東京書籍対応

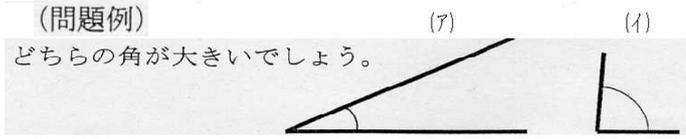
☆ 思考力・説明力を重視した「単元のめあて」を意識し、「授業のポイント」に留意することで、児童が主体的・対話的に学びを深めて、学力の向上が図られるようにしましょう。

※「単元のめあて」枠内の漢字に、ルビを振っている箇所があります。ひらがなと漢字のどちらを使うかは、学習進度などを勘案して指導者で判断して下さい。

(K・・・啓林館，G・・・学校図書，T・・・東京書籍)

学年	単元	単元のめあてと授業のポイント
1年	2巻⑧ かたちづくり	◎単元のめあて(板書例) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">いろいろたやぼうをならべたりうごかしたりせんでつないだりして、かたちのひみつを見つけて、はなそう。</div>
	同様単元 K11月⑭ G1月⑭	◎授業のポイント ・色板や棒を並べて様々な形を構成したり分解したりする中で、「さんかく」「しかく」が形作られていることや様々な形の中に「さんかく」「しかく」がある等、多面的な見方ができるようにする。 ・p.121～122では、色板を「ずらす」・「回す」・「裏返す」と口ずさみながら操作して形を作ることを通して、どんな形(「さんかく」「しかく」)をどのように動かして(「ずらす」・「回す」・「裏返す」)できているのか理解したり向きが変わっても形が同じであることを意識したりできるようにする。また、実際に△を置いて向きや数が理解できるようにすることも大切である。 ・p.123では、棒の数は変えないで棒の位置を変えることで、形が変わることに気付くようにする。
	2巻 1ねんのふくしゅう	◎授業のポイント ・1年間に身に付けた知識技能を活用して、1年のまとめができるようにする。 ・理解できていない問題については、児童自身が教科書の該当単元を開いて振り返りながら学習できるようにする。
2年	下巻⑰	・2月号参照
	下巻 計算ピラミッド	◎授業のポイント ・どのマスから計算すれば良いかを考えて、和と差が順序よく求められるようにする。 ・きまりを見付けて予測しそれを確かめる学習は、4年下巻⑩「変わり方調べ」につながる。
	下巻 2年のふくしゅう	◎授業のポイント ・1年間に身に付けた知識技能を活用して、2年のまとめができるようにする。 ・理解できていない問題については、児童自身が教科書の該当単元を開いて振り返りながら学習できるようにする。
3年	下巻⑱ 三角形と角	◎単元のめあて(板書例) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">二等辺三角形や正三角形を^{とうへん}かいたり作ったりしてひみつを見つけ、せつ明しよう。</div> ※三角形の弁別(下に記載)の後に、単元のめあて(上に記載)がつかめるようにする。
	同様単元 K1月⑰ G11月⑬	◎授業のポイント ・図形学習の段階(◎図形を弁別し、形を概念を理解する ◎図形の構成(作図)をする ◎図形の性質を理解する ◎他の図形との関連を理解する)を踏まえて、児童の意識がつながるような単元構成を考える。



		<ul style="list-style-type: none"> ・ p.81～82 では、仲間分けの観点を話し合う中で、弁別の観点を児童自身が取り出せるようにする。辺の長さに着目して、三角形を3つの仲間に分けた児童の考えを取り上げて、「2つの辺の長さが等しい三角形を二等辺三角形」、「3つの辺の長さがどれも等しい三角形を正三角形」ということを知らせ、単元のめあて(上に記載)がつかめるようにする。 ・ p.83～84 では、二等辺三角形や正三角形の 辺の長さのきまりを基に、形を描いたり作ったりできるようにする。 ・ p.88～90 では、角の大小は 辺の長さではなく 角を作る2つの辺の開き具合で比較することが理解できるようにする。また、二等辺三角形や正三角形の角について、性質に気付くようにする。 <div style="text-align: center;"> <p>(問題例)</p>  <p>どちらの角が大きいですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ p.91 では、敷き詰めることで、三角形と四角形など 他の図形との関連に気付くようにする。 	
下巻 そろばん 同様单元 K 3月 G 3月⑱	◎授業のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・そろばんの仕組み(5珠)に着目し、指の使い方や珠の運び方にはあまりこだわらず、数の多様な見方を用いた計算のしかたを 考えられるようにする。 $2 + 4 \rightarrow 2 + \textcircled{5} - 1 \qquad 8 - 4 \rightarrow 8 - \textcircled{5} + 1$ $9 + 2 \rightarrow 9 + \textcircled{10} - 8 \qquad 11 - 3 \rightarrow 11 - \textcircled{10} + 7$	
下巻 考える力を のばそう 同様单元 K3年12月 間の数	◎授業のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の場面を図に描いて再現しながら、直線上に配置された場合と円周上に配置された場合について、等間隔に配置されたものの数と その間の数との関係を 考察していくようにする。 ・児童の主体的な学びができるように、以下の算数教育情報を参照する。 【HP 算数教育情報コーナー「文章題のめあてとまとめ 解決の道筋(3年間の数)」参照】 	
下巻 3年の ふくしゅう	◎授業のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻の教科書を持ってきて、児童自身が 自ら振り返りながら学習できるようにする。 ・単位換算は、各単元に戻って 十分に習熟できるようにする。 ・時間の計算の習熟を 図るようにする。 	
4年	下巻⑱	・2月号参照	
	下巻 考える力をのばそう 同様单元 K5年10月	◎授業のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を取捨選択して その数量関係を図や表を用いて整理し、問題が解決できるようにする。 ・学習指導要領で重視されている 活用力や説明力を伸ばす单元である。
	下巻 算数で読みとこう	◎授業のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・1～4のデータが表している事柄の意味を読み取ってから、各問題に取り組むようにする。 ・「目的に応じてグラフなどのデータを選択して問題解決を図る学習」は、5年下巻⑮「帯グラフと円グラフ」に発展する。
	下巻 4年の ふくしゅう	◎授業のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻の教科書を持ってきて、児童が 自ら振り返りながら学習できるようにする。 ・概数の求め方や 数の構成について、習熟を図るようにする。

5年	下巻⑱ 角柱と 円柱 同様単元 K 2月⑱ G 2月⑲	◎単元のめあて(板書例) <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>角柱と円柱について、形の特徴や性質を調べたり 見取図のかき方や展開図のかき方と組み立て方を考えたりして、説明しよう。</p> </div> <p>※立体の弁別(下に記載)の後に、単元のめあて(上に記載)がつかめるようにする。</p> ◎授業のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・[立体の弁別と単元のめあて] 立体の意味「箱の形・つつの形・球などの形を、立体といいます。」を知らせ、立体を2つに弁別すると、「平面や曲がった面で囲まれている箱の形と筒の形の仲間」と曲がった面だけで囲まれている球などの仲間」に分けられることが理解できるようにする。さらに、箱の形と筒の形を詳しく面で分けると、<u>箱の形は角のある平面の形で囲まれており、筒の形は角のない円形の平面と曲面で囲まれていることが理解できるようにする。</u>箱の形を角柱、筒の形を円柱ということを知らせて、単元のめあて(上に記載)がつかめるようにする。なお、「箱の形」という用語は、「貨物輸送に関する国連勧告」での定義に基づき、「完全な方形または多角形の面で構成された容器」という意味で用いている。 ・[構成要素] 角柱と円柱それぞれの構成要素(面の形と数・辺の長さや数・頂点の数)を捉えて、表に整理する。 ・[見取図や展開図] 4年の直方体や立方体の描き方を基に、平行な辺の長さや位置・底面の形や位置に着目して見取図を描いたり 辺と辺・辺と面・面と面のつながりを予測して展開図を描いたり組み立てたりすることを通して、角柱と円柱など立体についての理解を深め 空間についての感覚を豊かにすることが、大切である。 ・[直方体や立方体と角柱の関係] 直方体や立方体それぞれの1つの面を底面と見れば、直方体や立方体は角柱と見れることに気付くようにする。
	下巻 考える力を のばそう	◎授業のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を取捨選択して その数量関係を図や表を用いて整理し、問題を解決できるようにする。 ・学習指導要領で重視されている活用力や説明力を伸ばすようにする。
	下巻 算数で読み ところ	◎授業のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・データを量でみたり 割合でみたりするなど、観点を変えて整理し 見直してみたりすることで、結論について 多面的に捉えて考察できるようにする。
	下巻 5年の ふくしゅ う	◎授業のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・4年の上下巻 5年の上巻の教科書を持ってきて、児童自身が自ら振り返りながら学習できるようにする。
6年	算数 卒業旅行	◎授業のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味関心によって選択して学習し、算数の楽しさが実感できる単元である。

<お知らせと お願い>

「算数授業のめあてとポイント」や「算数教育 情報コーナー」等をご覧いただき、日々の実践に役立てて下さい。

なお、これらについてのご意見ご質問および「算数教育ネットワーク岡山」の活動への参加希望は、seiden_atmark_po.harenet.ne.jp まで Mail でお知らせ下さい。

(スパム対策です。お手数ですが _atmark_ を、@に直して下さい。)